



ボランティア便り

川崎田園都市病院 ボランティア活動機関紙

vol.225 2026/8/16

お問合せはこちらへ

医療法人 若葉会 川崎田園都市病院

〒215-0023 川崎市麻生区片平1782

Tel: 044-988-1118 Fax: 044-988-0009

URL: <http://kawadenhp.com> E-mail: volunteer@kawadenhp.com

担当: レクリエーションワーカー 山口・野田



★当院においてくださっているボランティアの皆様の活動や患者様のご様子を紹介します！

6月20日(土) ロビーコンサート ご出演:澤田流津軽三味線勝紀会(三味線)



今月のロビーコンサートには、2011年6月以来15年振り、5度目のご出演となります。澤田流津軽三味線勝紀会の皆様をお迎えいたしまして、日本の伝統楽器・津軽三味線をご演奏いただきました。『りんご節』で幕を開けたコンサートは、三味線の力強さと繊細な音が響き渡り、会場を一気に“和”の世界へ。続く『津軽じょんがら節』では、迫力の合奏が広がります。激しい撥(ばち)さばきに、ご鑑賞される皆様も目や耳のみならず、身体に伝わる三味線の音の振動までも感じ取るかの如く深く聴き入っておられるようでした。プログラムは『十三の砂山』『津軽あいや節』『津軽よされ節』と続き、哀愁あるソロ演奏から技巧的な合奏まで、多彩で魅力溢れる津軽三味線の旋律をお届けくださいました。更に『ソーラン節』『真室川音頭』『花笠音頭』の民謡メドレーでは、お耳馴染みのメロディに自然と手拍子が起こり、会場が一体に。ご一緒にお歌いになれる方もおられました。『津軽じょんがら節』では自由な即興演奏が行われる所で、フィナーレでご披露くださり、圧巻の響きが会場を包み込んだ後、盛大な拍手とともに終演となりました。この日は100歳を超える患者様も数名ご参加され、日本人にとって親しみの深い楽器の演奏を最後まで堪能していらっしゃいました。

6月9日～ 6月の企画レクリエーション『雨』(内科病棟通常グループレク時間にて)



6月の企画レクリエーションは、「雨」をテーマに実施いたしました。地域の保育園児や小学生ボランティアの皆様からご寄付いただいた雨をモチーフにした装飾が趣を添えています(写真上段)。はじめにご紹介したのは、雨音を表現する楽器「レインスティック」です(写真中段左)。筒の中にある無数の突起にビーズのような細かい粒が当たることで、雨のような音が響きます。素材にはサボテンや竹、プラスチックなどがあり、お一人ずつ実際に触れていただき、「雨音」をお楽しみいただきました。また、内部構造が見えるように解体したレインスティックもご用意(写真中段中央)。沢山の釘が打ち込まれた迫力の見た目に「おーっ！」と驚きの声が上がる場面もありました。続いては、雷のような音がする「スプリングドラム」です(写真中段右)。長いスプリングを揺らすと「ゴロゴロ」と見た目からは想像できない音が響き、目を丸くされる患者様もいらっしゃいました。その次には、カエルの形をした電子楽器「ケロミン」「コケロミン」と、オタマジャクシの形をした「オタマトーン」をご紹介(写真下段左から順に)。ケロミンとコケロミンは口の開き具合で音程が変わるユニークな楽器で、まるで歌っているかのような愛らしい音が特徴です。『夏の思い出』『上を向いて歩こう』では、患者様お一人おひとりのお近くで演奏し、その音色を間近でお楽しみいただきました。自然と皆様から笑顔がこぼれ、会場は和やかな雰囲気。音楽の合間には、雨にまつわるクイズにも挑戦していただきました。“雨模様とはどんな天気？”“合羽の語源は何語でしょう？”といった問題に、「そうだったの？」「知らなかった！」と会話も弾み、楽しめた様子でした。締めくくりは、コケロミンとオタマトーンによる『愛燦燦』の演奏です。愛らしい見た目と少し調子外れな“歌声”に会場はクスクスと笑いに包まれ、目と耳の両方で雨の季節を感じながら、和やかなひとときをお過ごしいただけたようでした。

7月4日(土)・18日(土) 患者様お誕生会



7月のお誕生会は2日に分けて開催し、患者様をお祝いいたしました。4日の3階西病棟では、多くの患者様とご家族様にご出席くださいました。音楽のコーナーで『椰子の実』『愛は勝つ』のCDをおかけすると、皆様が声を合わせて歌ってくださり、温かい歌声で会場が満たされました。3階東病棟では、103歳になられた女性患者様もお迎えいたしました。師長よりご長寿のお祝い状をお渡ししますとその他の患者様やご家族様からも「おめでとうございます！」と温かい拍手が送られました。18日の4階西病棟では、会場へいらしてすぐは少し落ち着いた様子だった男性患者様も、作業療法士のピアノにて『川の流れのように』や『ふじの山』を演奏しますとじつくりと耳を傾け、終了時には「良かったよ。ありがとう。」と嬉しい言葉を頂戴しました。3階中央病棟では、レクワーカーによるトーンチャイムのお祝い演奏『きらきら星変奏曲』をお届けした際、皆様にも実際に楽器を鳴らすことに挑戦いただき、「柔らかくてきれいな音ね。」と様々な感想が寄せられました。2階東病棟では、普段は目を閉じて過ごされることの多い男性患者様も演奏中はずっと目を開いてお聴きくださり、その姿にスタッフも胸が熱くなる思いでした。

7月25日(土) ロビーコンサート ご出演:グルービー・グランパーズ(男声合唱)



7月のロビーコンサートは、グルービー・グランパーズ(筒井博史様・西野力様・田中四郎様・中城宏道様)の皆様と、ピアニストの米田恵子様をお迎えし、心揺さぶる男声合唱をご披露いただきました。なんと今回で当院へのご出演は10回目を数え、メンバーの皆様平均年齢は82歳になられたとのこと。豊かなご経験とお人柄がにじみ出る温かくユーモラスなお話に、普段のお部屋とは違うロビーの空気に少し緊張されていた患者様方も自然と笑みを浮かべ、たちまち音楽の世界へと誘われていきました。プログラムの幕開けは『きよしのズンドコ節』。軽快なリズムと男声合唱ならではの心地よい低音が会場を優しく包み込みます。続いて『牧場の朝』では、お耳馴染みのメロディに思わずといった様子で口ずさまれる方の姿も。『神田川』『いのちの歌』『麦の唄』では、ピアノの美しい旋律と、どこか切なさや色香を帯びた歌声が絶妙に溶け合い、空間いっぱいになり華やかなハーモニーが響き渡りました。アンコールに歌っていただいた『あの素晴らしい愛をもう一度』では、爽やかな疾走感に満ちる調べに触れたか、普段は目を閉じて過ごされることの多い女性患者様もこの日はじっとステージを見つめたり、あまり感情を表に出されない男性患者様も足先ですっとリズムをとったりと、音楽をそれぞれに堪能されているようでした。

8月1日(土)・8日(土) 患者様お誕生会



写真上段: 4階西病棟
写真下段(左から): 4階東病棟
3階中央病棟
3階東・西病棟(合同)
2階東病棟

8月のお誕生会はどちらも連日の酷暑が和らぎ、窓から注ぐ夏らしい日差しを心地よく感じる患者様もおられる中で開催をすることができました。1日の3階東病棟・3階西病棟合同の会では、スタッフやご家族様からのお祝いの声掛けに普段よりも穏やかな眼差しを浮かべられる女性患者様が印象的。8日の4階東病棟ではお祝いのプリンをお召し上がりの方々から「美味しい！」「どこのプリン？」と嬉しそうなお声がたくさん挙がりました。4階西病棟では、音楽のコーナーにて歌手のさだまさしさんがお好きだった女性患者様のリクエストで『案山子』と『道化師のソネット』をお聴きいただくと「大好き！」と笑顔をお見せくださいました。3階中央病棟でも、『瀬戸の花嫁』や『涙そうそう』をおかけすると、お集まりの皆様の優しい歌声で会場が一杯になり一体感に包まれました。2階東病棟では多くの患者様とご家族様がお集まりになりとても賑やかなひとときとなりました。普段は静かな場所を好まれる男性患者様は、最初は少しそわそわとした様子でしたが、レクワーカーよりトーンチャイムという楽器を使用して音楽のプレゼント『きらきら星変奏曲』を演奏しますと、深く頷き拍手をされ微笑んでくださいました。



2026年



今年も地域の方にご協力をいただき、七夕の笹を院内7か所(1階ロビー、2・3階の各デイルーム、2階リハビリテーション室、4階生活機能回復訓練室)に飾りました。どちらも患者様やボランティアの方による七夕飾りに彩られ、とても華やかな雰囲気となりました。

折り紙ボランティア
福原春様による
七夕飾りの作品



2・3階内科病棟では、6月30日より各病棟にて七夕をテーマにしたグループレクリエーションを実施しました。その時間では、今年も折り紙ボランティアの福原春様にご寄贈くださった三角形の折り紙を用いて、患者様方に『七夕飾り』の作成にも挑戦していただきました。同じ形を三つ連ねたモチーフは“天の川”を表現しているとのこと。皆様のお好みに合わせ、色や重ね方にも個性が感じられる飾りが仕上がりました。(写真:左上)

4階認知症治療病棟でも、患者様方による七夕飾りの制作が行われました。生活機能回復訓練室に設置された青々とした笹に皆様による様々な形のモチーフが揺れ、とても夏らしい清涼感に溢れていました。(写真:左下)

1階ロビーには外来を受診される方、病棟へご面会に向かわれるご家族様など、皆様からの願いが込められた短冊が彩りを添えていました。(写真:下中央・下右)



その他の 七夕の笹紹介

写真上段左:
2階リハビリテーション室
写真上段右:
2階東病棟デイルーム



写真下段左:
3階東病棟デイルーム
写真下段中央:
3階西病棟デイルーム
写真下段右:
3階中央病棟デイルーム

これからの活動予定

8月22日(土)	14:00～	敬老のお祝いコンサート ご出演:レ・クロッシュ(ピアノ・チェロ)
9月5日(土)・12日(土)	病棟毎に	患者様お誕生会
9月7日(月)・9日(水)・18日(金)・29日(火)・10月3日(土)	病棟毎に	敬老のお祝いイベント
9月26日(土)	14:00～	敬老のお祝いコンサート ご出演:新百合山手クインテット(フルートと弦楽合奏)
10月10日(土)・17日(土)	病棟毎に	患者様お誕生会

★お誕生会・各イベント
⇒開始時間・会場等、詳しくは院内掲示を御覧ください。

感染予防対策のため、予定を急遽
変更させていただく可能性があります。

ボランティア担当より

私がレクワーカーとしてご入院中の患者様方とお話をする中、時に皆様の豊かなご経験をお聞かせいただくことがございます。今回はその中でのエピソードの一つご紹介いたします。とある女性患者様よりこんなお言葉をいただきました。「困ったことがあった時は、困っているということをしっかりと周りに伝えなさい。そうすると自然に助けしてくれる人が現れる。そういう人は、昔、助けてもらったことのある人ばかりだから、うんと頼りなさい。そうして、今返そうとしなくても良いから、次にあなたが頑張れる時に、あなたが誰かを助けてあげるの。昔はそうやってみんなで生きてきたし、私もそうやってきた。今の時代でも、そうであっていいと思うの。今は私にできることはほとんどないけど、応援はできる。だから頑張る人を、あなたのことも、ずっと応援してるわよ。」その激励のお言葉に、私は強く胸が打たれました。その際に思いましたことは『ボランティア』の語源です。ラテン語では『決意する』、フランス語では成し遂げようとする意味の『意志』と訳すそうです。時代を経て日本では『自分で選んだ社会や人々の暮らしをよりよいものにするために、今自分にできることをする』と捉えられています。今回患者様からいただいたお言葉を「恩送り」として大切に、日々の活動にて皆様へ還元できるよう努めて参ります。(山口)